

# 熊野古道

## ふくろくま記

11

### 波太神社の秋祭り

絵と文・熱田親憲

題字・熱田秦華

府南部・泉州の紀伊 豪快と聞き、10月11日  
 参詣道や浜街道周辺の (2015年)、最寄  
 10月は、秋祭りで大に りの南海鳥取ノ荘駅へ  
 ぎわいである。中でも 向かう。正午過ぎに神  
 波太神社(阪南市)の 社前に着くと、広場で  
 「やぐら」の宮入りが は3地区・下出、石田

宮本、黒田の順でやぐら行列の役割が決  
 らの引き回しが始まっ った。歓声と共に紙吹雪 集まる。人間の背丈以  
 ていた。男女の若衆が まっていて、年々役割 下の道路脇は温かく  
 ロープで引き回し、カ は変わるんです。成人 見守る群衆で埋まり、  
 ープを曲がり終えると すると責任があるので 町全体で自分たちの祭  
 やぐらを上下に揺ら 欠席できず、自ずと団 地区それぞれの特徴あ  
 し、祭りを盛り上げて 結心が出てくるわね」 りを楽しくしている。見  
 いた。奥まった拝殿近 周りの露店には、初 整え、前列に若衆、後  
 くの参道で宮入りを待 々しい法被姿の少年少 列に可愛い法被姿の子  
 っている、黒田地区 りに興じる。 どもとその親を従えて  
 入場する。

## 勇壮、豪快「やぐら」宮入り

のご婦人が話しかけて 午後3時になると下 った若衆の音頭と太鼓  
 下さった。 出組のやぐらの太鼓が 中続く。見事な団結ぶ  
 「今日は息子がやぐら 近づき、石橋を渡って りをみると、町おこし  
 らに乗るので、応援に 一旦止まり、助走をつ には「祭り」を核にす  
 屋前から来ているんで けて本殿の広場に向か るのが一番だと思っ  
 すよ。結婚して家を出 って一気に石段を駆け 上った。観衆の拍手  
 たけど、昨日から家族 連れて帰っているの」 と氣勢をあげる。後の組  
 と表情を崩す。 「やぐらに乗りには、 助走がある。パレード  
 事前に申し込むのです 根に上り、組の団長旗 前の午後3時半を目安  
 か」 を広げてお披露目をし 前広場へ「やぐら」が



波太神社(阪南市石田)にて

「子どものときから 波太神社(阪南市石田)にて

こんなぎわいの陰 鳥取ノ荘駅の反対側 には、大坂夏の陣の悲 恋物語が「てまり唄」 として歌われているお 菊さんの「法福寺」が あった。境内の碑文の 説明にお菊の無念さが しのばれた。どの町に もさまざまな歴史があ り、地域それぞれの人 の思いが祭りを生み出 していることに気づか された。

山車揃い稲穂のごと く波を打つ 秦華 (次回は10月31日掲載 予定)